

『(一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会』
2022年度第1回(通算第31回)理事会 議事録
(議事録作成:事務局 立花)

日 時:2022年 6月 7日(火)18:00~19:00

会 場:各理事の事務所など(テレビ会議方式)

出席者:(理事)奥田龍人、石田幸子、本見研介、下川孝志、関口由美、磯部和弥、
田村友明、山口将治、秋田谷徹(天野理事代理)
(事務局)立花和浩

欠席者:(理事)天野佐智子、瀬戸いく子

※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長 : 奥田龍人
(会長・理事、(一社)北海道ケアマネジメントサポートリンク)

議事録署名人: 磯部和弥
(理事、社会福祉法人 余市福祉会)

議事録署名人: 山口将治
(理事、社会福祉法人 勤医協福祉会)

【会議次第】

- 1 議長選出
- 2 理事会定数の確認
- 3 議事録署名人の選任
- 4 報告事項
 - 1) 会員数の現状報告(3月末日現在)
 - 2) 協会の収支状況報告(3月末日現在)
- 5 協議事項
 - 0) 理事自己紹介
 - 1) 本年度事業について
 - 2) その他
- 6 次回開催について

【議事内容】

0 天野理事の代理出席者について

●事務局：過日、天野理事より「業務多忙で本日のように理事会等への出席ができないことが多いとなりそうのため、自身が出席できない場合、秋田谷徹氏（社会福祉法人 ろく舎 法人事務局 企画部長）を代理出席させることしたい」との申し入れがありました。理事会への代理主席については「本会定款」に特に規定がないため、本日出席の理事各位に承認いただき、議事録に残すこととしたい旨諮ったところ、参加理事より特に意義なく、今後の代理出席が承認された。

1 議長選出

●定刻、理事8名（うち代理出席1名、遅れて1名の理事の参加があり都合9名）が参加となり、理事会開催を宣言、定款により奥田会長が議長に就任

2 理事会定数の確認

●出席：奥田、石田、下川、本見、関口、磯部、田村、山口、秋田谷（天野理事代理）
10名中9名出席により、2分の1を超えているので理事会の成立を宣言

3 議事録署名人の選任

●磯部理事、山口理事を選任

4 報告事項

1) 会員数の現状報告(3月末日現在)

- ・正会員：77社・人(前理事会時77社・人)、172住宅(前理事会時171住宅)
- ・賛助会員：21社・人(前理事会時21社・人)

2) 協会の収支状況報告(3月末日現在)

- ・昨年度決算については別紙総会議案書（案）参照

5 協議事項

1) 総会開催日の決定

- 6月30日（木）18：00～開催で決定

2) 総会議案書（案）について

- 「2021年度業務報告書と決算書」について
 - ・事務局：業務報告書については、昨年の実施済み事項ですので、一読ご確認いただき、気が付いた点などあればお知らせいただきたい。決算書については、収入については会員数減、研修・事業者勉強会の参加者数減により、予算を2割弱下回ったが、支出も合わせて下回り、若干の黒字で終了しました。

● 「2022年度事業計画（案）」について

・事務局：事業者勉強会、相談員養成。事業者・管理者、虐待防止の3研修については、これまで通り継続予定ですが、理事各位には新規事業について集中的に検討をいただきたい。

また、予算書については、2021年度よりさらに減額した予算となっていますが、身の丈に合った予算書とも言えます。

・奥田会長：継続事業と予算案については、ご了解いただけることでよろしいでしょうか？（各理事より特に異議無く、承認された）。

それでは新規事業案について、各理事より自由にご発言をいただきたい。

・下川理事：サ高住には、グループホーム、特養に入れられない人達の受け皿として地方でも連携が取れることを期待していたが、地方にはサ高住がなかなか増えないし、サ高住にも連携を考えてくれる経営者・運営者が見当たらず、期待していたような連携・協力に至っていない。

・奥田会長：都市部と地方のサ高住について現状と課題についての調査研究事業を考えても良いかもしれません。

・田村理事：我が社ではソリューション事業として①入居率向上、②住宅の問題点の洗い出し、③見学対応、入居までの対応マネジメント、④収益構造の見直し、⑤経費の見直しなどを対価を得て事業としている。高住協も理事会にこれだけ経営者が集まっているので、相談対応・助言の体制をとれば、収益事業にもできるのではないか。

・秋田谷氏（天野理事代理）：困りごと、わからないことについての研修や情報交換の場が欲しい。具体的には当社でも検討を始めていることだが、「高齢者向け住宅におけるICT化の進め方（補助金利用方法も含めて）」、「非常災害電源の補助金」などがあげられる。

・磯部理事：ネット利用をもっと進めてはどうか。具体的には、①ホーム・ページ上などで、質問ができ、その回答が得られる仕組み、②ユーチューブ・チャンネルの開設、などを考えても面白いのではないか。

・山口理事：①高齢者向け住宅における身体拘束に関する研修、②高齢者向け住宅における今後のニーズの動向に関する情報共有、ができればありがたい。

・奥田会長：各理事からのご意見をお聞きし、以下の項目について事業計画に含めたい。

① 会員向け相談体制の強化充実

② 新規研修の検討 ・身体拘束、・ICT 導入（補助金導入も含む）等 なお、講師にはプロと合わせ会員住宅の事例も発表いただく

③ 地方と都市部のサ高住の実態調査研究事業（補助金受託を前提として）

2022 年度事業計画書（案）に盛り込んだうえで各理事にお送りし、確認をいただいて総会に諮ることとします。なお、ユーチューブ・チャンネル開設については、まだまだ検討が必要ですが、研修のビデオ・オンデマンド化については具体的な検討を進めたい。

3)その他

・事務局：前回理事会において保留のままの「企画広報委員会」、「新規活動準備委員会」の各理事の振り分けと活性化を図りたい。

・奥田会長：事務局で各委員会の役割説明と合わせて振り分け案を作成し、お送りすることとします。

6 次回開催について

日時：未定

場所：Web 会議方式（予定）

議題：未定

以上で第 3 1 回理事会を終了した。